

2017年3月期＜前半期＞ 決算説明会

内容

- ◆ 連結業績概況
- ◆ 事業セグメントの概況と成長戦略
- ◆ 決算期変更と今後の計画策定について
- ◆ (ご参考) BS概況
事業別・地域別セグメント業績

本資料中の計画、予想は2016年11月10日現在の認識・前提にたっており、これからの国際情勢、経済状況、事業環境に著しい変化があった場合には、実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。また、表記の金額は億円未満について四捨五入しております。

- 減収：為替変動とLCD関連の低迷の影響を受け、売上高は伸びず。
- 増益：海外市場への拡販と原料価格の安定で増益。

(単位：億円)

科目	2017年3月期 予想	2017年3月期 前半期	2016年3月期 前半期	増減率(%)
売上高	2,900	1,331	1,409	▲5.6
営業利益	195	89	85	4.8
経常利益	200	79	87	▲10.0
当期純利益*	120	53	57	▲7.5
営業利益率	6.7%	6.7%	6.0%	0.7 (point)
海外売上高 比率	45.0%	42.2%	44.1%	▲1.9 (point)

	2017年 3月期 (予定)	2016年 3月期
配当(年間・円)	16.0	15.5

為替	計画の前提	前半期 平均	前年同期 平均
1USD=	¥115.0	¥105.39	¥121.72
1EUR=	¥125.0	¥117.69	¥135.32
1RMB=	¥17.5	¥15.90	¥19.43

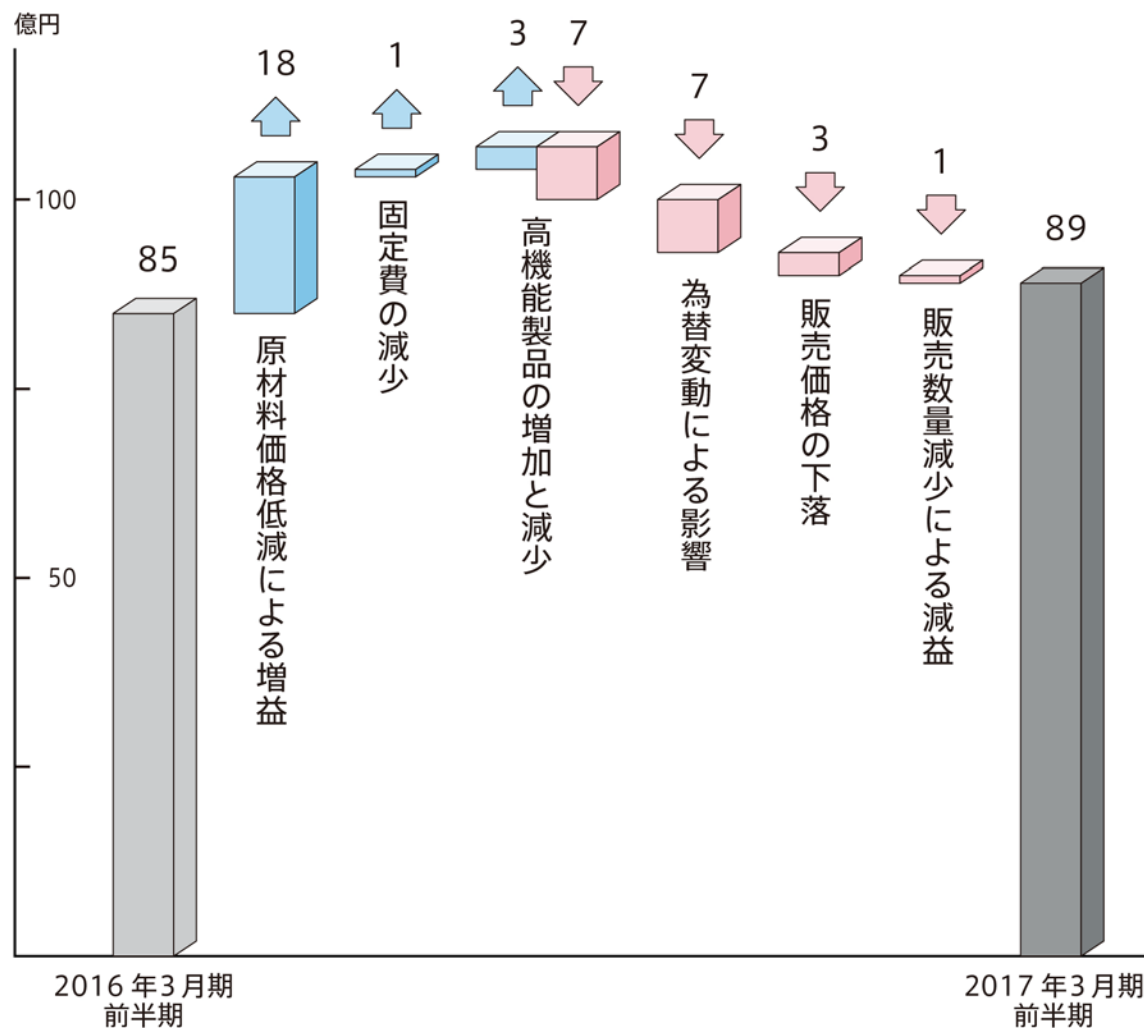
	通期計画	前半期 実績	前年同期 実績
設備投資	131億円	62億円	60億円
減価償却	104億円	51億円	51億円

* 親会社株主に帰属する当期純利益

2017年3月期前半期 決算説明会

2017年3月期 前半期 営業利益の増減要因分析

2016年3月期 前半期 85億円
2017年3月期 前半期 89億円
<p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 原材料価格低減による増益 (+18億円) 代替原料への置き換え 原材料価格の見直し ■ 固定費の減少 (+1億円) ■ 高機能製品の減少 (▲4億円) HCなどその他高機能製品の増加 (+3億円) LCD関連製品などの減少 (▲7億円) ■ 為替変動による影響 (▲7億円) ■ 販売価格の下落 (▲3億円) ■ 販売数量減少による減益 (▲1億円)



（単位：億円）

概況	通期計画	前半期実績	前年通期実績	前年同期実績
売上	725 (0.9)	322 (▲12.7)	719	368
営業利益	48 (7.6)	15 (▲37.2)	45	24

主要製品の売上目標	通期目標	前半期実績
LIB用カーボン分散体	4	1.4
メディア材料	225	93

* カッコ内は前年実績からの増減率(%)

市場概況と施策の進捗

化成品

- 顔料は印刷分野は低調も、塗料・プラスチック着色用途で販売が伸長した。
- CFペーストは需要が落ち込み減益となった。

表示材料

- パネル市場は国内は稼働回復。中国・台湾も回復の兆しも、韓国は依然低迷。
- パネル用・イメージセンサー用新規開発レジストインキの早期実績化を進める。

着色剤

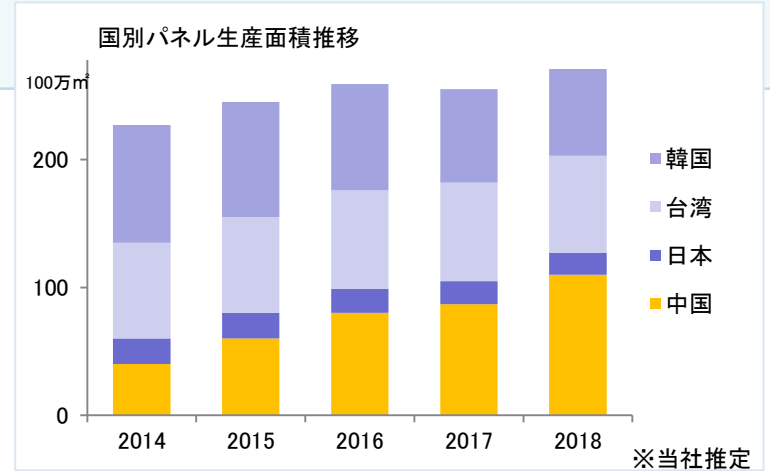
- 自動車関連は堅調に推移。容器関連はシェアが向上し、また飲料関連の需要が旺盛で好調。
- グローバルキーアカウント向け製品の水平展開、評価中の太陽電池関連製品の実績化を確実に進める。

各セグメントの成長戦略(色材・機能材)

CFビジネスの収益拡大① 中国市場の開拓

4K普及、大型化需要により拡大する中国パネル市場に向けた開発・マーケティング

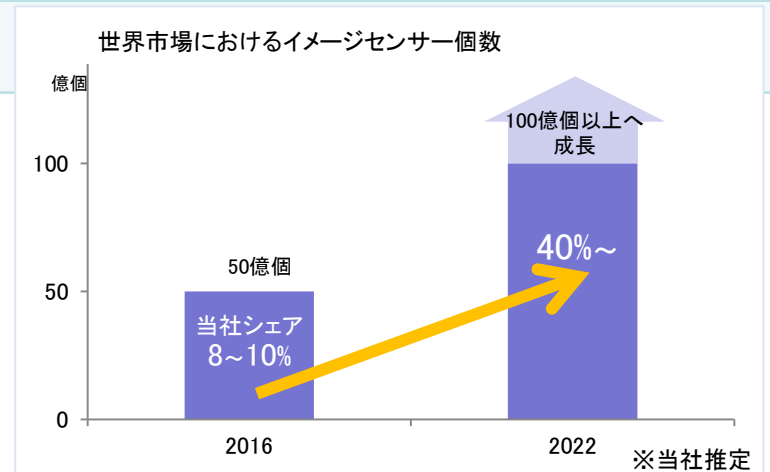
- 高品位化ニーズを捉え、独自開発顔料を新たにラインナップ
- 中国市場に向けた幅広いラインナップに裏付けられた汎用/高品位の2グレード戦略
- 今後拡大が見込まれる有機ELディスプレイ市場への展開(多様化するディスプレイに対応)



CFビジネスの収益拡大② 開発製品の実績化

イメージセンサー用オンチップレジスト

- 2022年⇒トリリオン・センサー時代(1兆個市場へ)
→イメージセンサーは100億個以上の規模になると想定
- 当社の色材開発技術、分散技術を活かしてイメージセンサー向けレジストを開発
- 応用展開として、赤外線制御技術による空間認識センサー分野の開拓



顔料分散体・着色剤の拡販

独自素材や技術を活かした、自動車、エネルギー、ヘルスケア分野等への用途展開

（単位：億円）

概況	通期計画	前半期実績	前年通期実績	前年同期実績
売上	635 (4.3)	291 (▲3.3)	609	301
営業利益	63 (13.6)	32 (29.1)	55	25

主要製品の売上目標	通期目標	前半期実績
エレ・オプト用製品	40	16
ヘルスケア関連製品	20	8

* カッコ内は前年実績からの増減率(%)

市場概況と施策の進捗

パッケージ

- パッケージ用接着剤の海外への展開がすすむ。
- 製缶用塗料は、拡販継続で堅調。
- 紙、フィルム用ラベル用接着剤は、市況の冷え込みで落ち込み。

エレ・オプト

- ICT関連用接着剤の新規拡販すすむ。
- 機能性フィルムは、韓国、中国において拡販がすすむ。新製品が拡販に寄与、為替影響拡大。

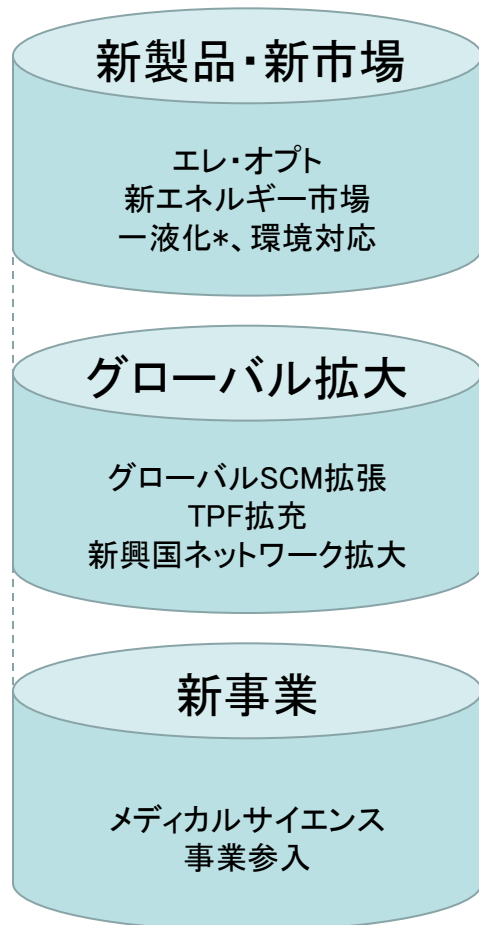
自動車/工業用

- 自動車、建材など工業材用接着剤の拡販すすむ。

ヘルスケア

- 16年7月より貼付型医薬品の事業運営を開始。

成長戦略の3つの柱



重点目標

エレ・オプト市場における拡販(日,韓,台,中における展開)

- ・OLED市場参入と販売拡大
機能性フィルム及び粘着剤拡販
- ・中国市場拡販
ディスプレイ用粘着剤、
機能性樹脂拡販

2017年売上目標
(4-12月)

塗加工製品: **24**億円

高分子製品: **21**億円

メディカルサイエンス製品の拡充

- ・ヘルスケア用製品の拡大
- ・貼付薬製品群の拡張
- ・医薬品プレミックス加工拡充

2017年売上目標
(4-12月)

21億円

* 一液型アクリル溶剤系粘着剤

（単位：億円）

概況	通期計画	前半期実績	前年通期実績	前年同期実績
売上	675 (4.5)	319 (▲0.4)	646	320
営業利益	34 (24.9)	16 (37.7)	27	11

主要製品の売上目標	通期目標	前半期実績
フィルムフレキソ	15	8
東南アジア・中国 リキッドインキ	185	76
インド・ブラジル・トルコ リキッドインキ	45	19

* カッコ内は前年実績からの増減率(%)

市場概況と施策の進捗

国内

- 国内パッケージ市場は堅調に推移。リジッド容器からパウチ化の拡大と個包装ニーズ高まる。
- 高性能裏刷、表刷グラビアインキ開発ならびに、フレキソ新規参入顧客獲得を確実に進める。

海外

- Drupaにて環境対応製品(水性/EB)のソリューション提案を実施。水性はVOC規制など背景にアジアで実績化。
- アジア(インド含む)ではミドルグレードの製品が堅調。中国内陸・ブラジルなどの新拠点も業績が拡大。

(単位:億円)

概況	通期計画	前半期実績	前年通期実績	前年同期実績
売上	885 (1.2)	405 (▲5.8)	874	431
営業利益	40 (34.4)	16 (77.3)	30	9

主要製品の売上目標	通期目標	前半期実績
UVインキ	230	99
インクジェットインキ	30	10
インド・ブラジル・トルコ オフセットインキ	60	27

* カッコ内は前年実績からの増減率(%)

市場概況と施策の進捗

国内

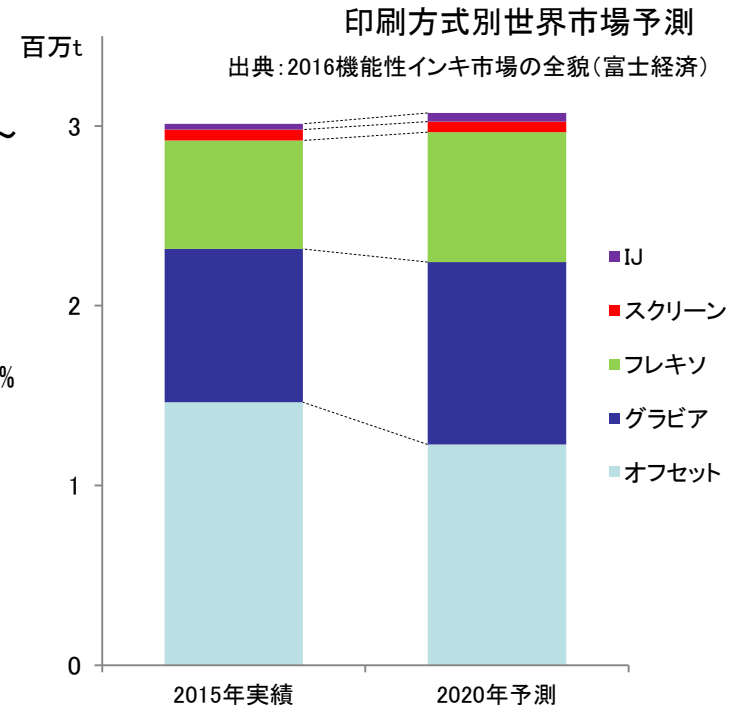
- オフセット市場(商業、出版、新聞)は減少傾向変わらず。全体市場は上期▲3%減。
- 上記製品群は合理化推進、新拠点を立ち上げたUVインキはさらに拡販を進める。
- LCDコート剤は韓国市場向けOLED-TV用帯電防止HCが大きく伸長。光学HCは中国市場でスマホ市場の好況を背景に需要伸長

海外

- オフセット印刷市場は構造的に縮小の一方、UVインキ市場はパッケージ用途、省電力ニーズで成長が続く。
- ブラジル、インド工場の生産拡大。世界各地でUVインキの生産移管が進む。

市場構造変化への対応

- 印刷・情報(国内): オフセット市場(商業、出版、新聞)の縮小(年率▲4~5%減)はあるが、UVは伸長。
- パッケージ(国内): パッケージ用グラビアインキは堅調。(年率+2%の伸長率)フレキソ市場への新規参入相次ぐ。
- 印刷・情報(海外): 枚葉、オフ輪の市場縮小、UV市場の拡大(年率3~4%増)。
- パッケージ(海外): 市場は堅調に推移(年率+3~4%成長)。特に新興国では5%以上の成長を維持。中国ではVOC規制から水性インキ/ノンソル接着剤のニーズが出ている。



徹底した合理化の追求

共通化・統合化の推進
国内SCM拠点の集約、生産工程の短縮

対応スピードの加速

海外R&D拠点の設立(中国・タイ)
フードグレード用オフセットインキ拡販活動推進

成長市場への資源投入

UVインキ、EBインキ、水系インキの開発加速
UVインキ製品の海外現地化と拡販推進

高付加価値ニッチ市場向け製品群の強化

金属インキ
→海外展開の強化

2ピース缶市場におけるグローバル展開加速
多色印刷機市場においてプレゼンスを向上

2015年度実績 47億円

2020年度売上目標 68億円

インクジェットインキ
→様々な用途展開

捺染、欧米向けラベル、段ボール用途
UVサイン新規顧客開拓

2015年度実績 21億円

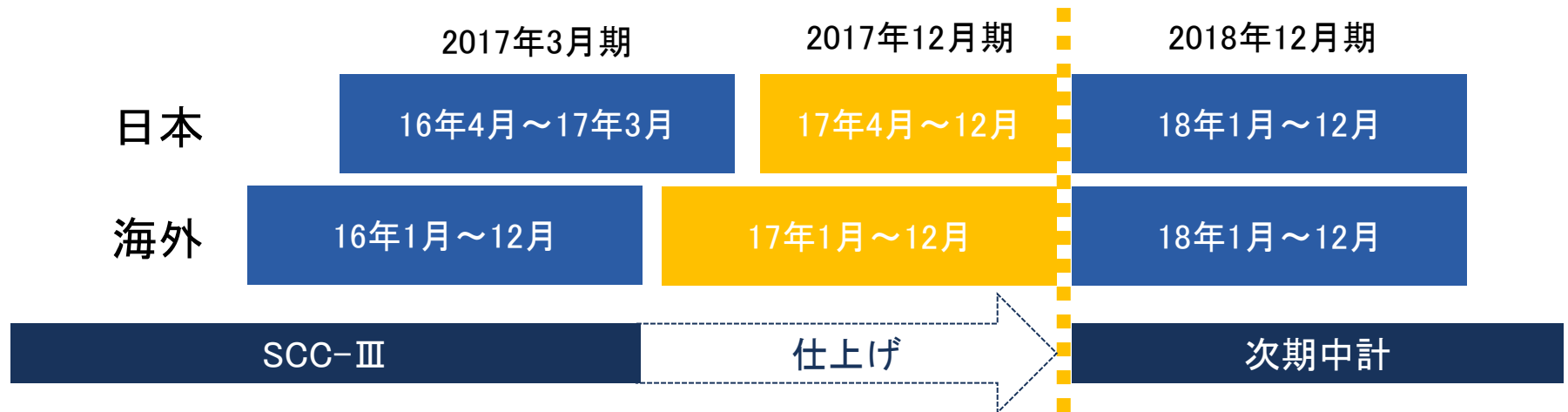
2020年度売上目標 52億円

スクリーンインキ
→差別化製品

フィルム加飾成型分野
市場/ダミー成型、アミューズメント
カーボンナノチューブ
市場/車載分野

2015年度実績 14億円

2020年度売上目標 20億円



■ 決算期変更

次期会計年度より決算期を12月に変更

【目的】エリア間の期ずれの解消および世界標準導入による他社比較の簡便化

グローバルな事業の一体運営の推進

経営情報の適時・適切な開示による経営の透明化

■ 今後の計画策定

2017年12月期: 本中計(SCC-Ⅲ)の仕上げの年と位置づける

2018年12月期: 次期中期経営計画の初年度とする(発表は17年11月を予定)

SCC-Ⅲ期間の成果

仕上げに向けた活動

新製品・新市場

■ライフサイエンス

環境調和型グラビアインキ・ヘルスケア用粘着剤の開発・販売、貼付型医薬品事業の取得

■コミュニケーションサイエンス

電磁波シールドフィルム・導電材料・光学用ウレタン粘着剤・UV接着剤・グリーンレジストインキ・イメージセンサー用レジストインキの開発

■サステナビリティサイエンス

太陽電池用着色剤、LIB用カーボン分散体の開発

ライフサイエンス

貼付薬事業を基盤とする医薬品分野へのグループシナジー創出

コミュニケーションサイエンス

グリーン、イメージセンサー用レジストインキの拡販
UVインキ、IJインキの事業拡大

サステナビリティサイエンス

LIB関連製品の拡充、拡販

グローバル展開

■収益拡大・増強

【タイ】ポリマー工場増設
【インドネシア】塗料新工場
【マレーシア】インキ工場増設
【中国】内陸(成都)におけるインキ工場新設
【韓国】粘着剤工場増設、レジストインキ新工場

■ブランド向上

【米国】粘着剤工場増強、IJ新工場
【欧州】UVインキ工場増強

■収益安定化

【インド】樹脂新工場
インキ・IJ工場増設
【ブラジル】オフセットインキ新工場

■新規開拓

【トルコ】IDYDYO社M&Aによる
本格進出
【メキシコ】新会社設立

収益拡大・安定化

【中国】CF関連新製品拡販、シェア向上
【インド】更なる収益の拡大
【ブラジル】拠点の軌道化
【メキシコ】パッケージ用着色剤拡販

新規開拓

【トルコ】周辺国市場の開拓

経営基盤

■組織／ガバナンス

事業会社への権限移譲、グループ横断プロジェクトの推進

■人材

ダイバーシティ、人事・雇用制度強化(国籍、性別、専門分野、シニア社員)

■技術／モノづくり

高機能性材料の開発推進、3グレード戦略製品展開

■環境

VOG規制対応(中国)、太陽光発電設備導入

■情報／システム

ERPシステム導入開始

組織／ガバナンス

グループ会社の自立自走に向けたミッションの明確化

技術／モノづくり

既存TPFの組み合わせによる新価値創出とサイエンス領域拡大へのチャレンジ

情報／システム

決算期変更に伴う準備

2017年3月期前半期 決算説明会

(単位:億円)

科目	2016年 9月末	2016年 3月末	増減率 (%)
流動資産	1,731	1,841	▲5.9
固定資産	1,705	1,765	▲3.4
資産計	3,437	3,605	▲4.7
流動負債	927	857	8.1
固定負債	467	602	▲22.4
負債合計	1,393	1,459	▲4.5
純資産計	2,043	2,147	▲4.8
負債純資産計	3,437	3,605	▲4.7

資産の減少は主に海外分の為替換算による

流動負債の増加はシンジケートローンの返済期間による長期から短期への振り替えによる

有利子負債の減少は為替換算による

科目	2016年 9月末	2016年 3月末
有利子負債(億円)	652	673
自己資本比率(%)	57.8	57.7
D/Eレシオ	0.34	0.35

	2016年9月末	2016年3月末
連結子会社数	69	68
持分法適用会社数	11	12

(ご参考)事業別セグメント実績

		2017年3月期 第2四半期実績 (億円)		増減率 (前年同期比較 %)		増減率 (2017年3月期 第1四半期比較 %)		当期累計実績 (億円)		増減率 (前年同期比較 %)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
・ 機能色材	日本	102	10	▲1.2	32.1	8.2	257.9	197	12	▲4.0	▲24.0
	海外	91	0	▲24.8	▲92.7	▲0.4	▲84.1	181	3	▲21.5	▲62.0
	合計	164	10	▲12.0	▲26.3	4.7	95.8	321	15	▲12.7	▲37.2
・ ポリマー加工	日本	109	10	▲1.5	9.6	4.2	9.5	214	19	▲1.9	21.2
	海外	51	7	▲13.5	47.3	▲5.0	0.6	104	13	▲9.1	41.9
	合計	146	16	▲5.3	20.7	0.5	4.9	291	32	▲3.4	29.1
パッケージ	日本	102	7	0.2	53.6	7.4	94.4	196	10	▲1.1	37.8
	海外	62	3	▲4.3	26.9	0.3	39.8	124	6	0.8	35.1
	合計	163	10	▲1.7	41.9	▲13.2	69.6	318	16	▲0.4	37.7
印刷・情報	日本	124	3	▲10.4	92.4	4.2	71.5	243	5	▲8.0	196.1
	海外	92	6	▲7.7	25.1	▲0.3	74.6	184	9	▲3.7	43.4
	合計	205	10	▲8.8	55.6	3.1	71.9	405	16	▲5.8	77.3
その他		14	5	▲2.2	▲41.9	▲9.0	▲20.7	30	10	5.5	▲35.3
調整		▲16	0	-	-	-	-	▲34	▲0	-	-
連結合計		676	51	▲7.0	4.9	3.2	33.1	1,331	89	▲5.6	4.8

(注)事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

2017年3月期前半期 決算説明会

(ご参考)地域別セグメント実績

当期実績	当第2四半期 (3ヶ月)実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2017年3月期 第1四半期比較(%)		当期実績(累計) (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	日本	446	34	▲3.7	11.8	5.7	48.1	867	56	▲3.7
アジア・オセアニア	211	17	▲19.0	8.5	▲1.4	12.4	425	32	▲15.8	21.0
ヨーロッパ	48	0	17.0	▲89.4	4.0	▲52.3	94	1	26.8	▲73.0
北米・中南米	31	▲1	▲13.9	-	▲6.9	-	64	▲1	▲7.4	-
調整	▲59	0	-	-	-	-	▲120	1	-	-
連結計	676	51	▲7.0	4.9	3.2	33.1	1,331	89	▲5.6	4.8

昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	438	26	463	30	470	35	448	27	1,819	119
アジア・オセアニア	244	11	261	15	252	18	250	19	1,007	63
ヨーロッパ	33	1	41	3	35	0	36	▲0	145	4
北米・中南米	33	▲1	36	▲1	37	▲0	36	1	142	▲1
調整	▲66	▲0	▲73	1	▲70	0	▲71	▲0	▲281	1
連結計	682	36	727	48	725	54	698	46	2,832	185

TIG EXPO



2017

TOYO INK GROUP PRIVATE SHOW

東京会場

日時 2017年2月2日(木)・3日(金)
10:00-17:00

場所 東京国際フォーラム

大阪会場

日時 2017年3月10(金)
10:00-17:00

場所 グランキューブ大阪

※12月より事前受付開始予定です。